

2010 年度 事業および運営に関する報告

(2010 年 4 月 ~ 2011 年 3 月)

[2010 年度の総括]

文責 : 代表 古賀桃子

[事業面]

※後段の「事業報告の詳細」参照

1 ●事業展開において重視した点

ふくおかNPOセンターでは、2002 年の設立当初より、事業の2つの柱として、“コンサルティング”(草の根のNPOのサポート) および “プロモーション”(NPOの社会的な啓発) を掲げて活動を進めてきた。

現在、福岡県内で、特定非営利活動法人として活動する団体は 1,400 団体を上回り(2011 年 3 月末現在)、依然、緩やかな増加傾向にある。しかしながら、福岡県を含む全国各地で、情報公開(事業報告書の提出等)の義務を怠っているとところも多いようで、真に社会や地域に信頼されるセクターとなるには、未だ課題が多いともいえる。

他方、福祉・医療・環境・子育てなど、私たちの生活課題の深刻化・顕在化は進むばかりで、かつ、社会・経済・政治の状況も世界的に流動的な様相をきたしつつある。

そのような中、「何か地域のためにできれば」、「もっと安心して暮らせる社会づくりを」という思いやこころざし、問題意識を抱き始める市民(個人)も増えつつある印象である。このような時勢から、おそらく、NPOや地域活動などに関心を寄せる人たちは、今後も増えることが予測され、法人化している団体も含めたNPO関係者や一般市民が、NPOやボランティアの基本的理解を確かめたり、自らの活動のありようについての認識や検証を促すことは、やはり意義深いと考える。

かたや、多くの地方自治体は、ここ数年来、「協働」や「市民活動支援」といったアプローチを施策上に打ち出しており、その流れの中で、従来から行われてきたNPOへの資金的支援や市民活動支援拠点施設の整備に加え、協働の取り組みを誘発させるためのマッチングの仕組みづくり(提案公募型事業)に乗り出すところも出てきている。他方、行財政改革の文脈で捉える向きもみられ、「協働」をそのための一手段として位置付ける風潮が、行政内部において、益々強まらないかとも憂慮している。

一方、企業においても、CSR(企業の社会的責任)やSR(組織の社会的責任)への関心が、福岡のような地方都市にある企業でも徐々に高まっており、その一環として、NPOへの支援や連携関係を模索する企業も出てきている。数年前までは専ら大都市に本社を置く大手企業の関心対象であったが、最近では、地場の大手や中小企業レベルでも、勉強会等を開く動きが出てきている。

このような個人・地域・社会の動向を傍目に、2010 年度についても、NPO・企業・行政等を対象とした力量形成のための研修やネットワークづくり、一般市民やNPO・企業・行政等のセクター毎の関係者を対象とした啓発、コーディネーションに取り組んだ次第である。

2 ●事業の主な実施手法

2010 年度は、自主事業として、月例イベント「5丁目カフェ うさぎ」や、企業からNPOに物品を橋渡しするサービス「つこーちゃらん?」、協働やSR（組織の社会的責任）の最新の動向をキャッチしていただくための「組織のための社会的責任（SR）セミナー」を開催した。

また、事務局として運営協力しながら参画している企業・行政関係者有志の自主勉強会「企業市民ネット九州（KIQ）」・「パートナーシップ研究会（ぼ〜研）」を引き続き行った。

この他、行政からの受託事業として、主に行政内部向けの協働の環境整備プロジェクト「佐賀市協働ステップアップ事業」（佐賀市と協働）、マルチステークホルダー間で協働の課題・方策を練る「北九州市協働コーディネーターのあり方研究業務」（北九州市と協働）、そして、NPO対象のIT活用推進事業「NPO・ICT どんとこいプロジェクト」の一環として、「ふくおか協働 Web」の保守・運用面のサポートや、「ふくおか生涯学習ひろば」の開発から保守・運用面のサポートを継続実施した。（いずれも福岡県と協働）

また、企業からの協賛事業として、北九州市内の児童館を対象とした「子どものための児童館とNPOの協働事業（NPOどんどこプロジェクト）」（協賛：財団法人住友生命社会福祉事業団）や、NPO関係者を対象とした「伝えるコツを身につけよう NPOのための広報スキルアップセミナー」（協力：株式会社電通、株式会社電通九州）を行った。他方、協賛ではない新たな形の協働として、株式会社ヌーラボと、「バックログコネクト」なるプロジェクト管理に有用なツール（同社製）をNPOに社会貢献活動の一環として無料リリースするプロジェクトの側面支援も着手した。

併せて、「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」・「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）」・「NPO法人会計基準協議会」といった全国的なネットワークに参画し、各種学習会の開催や署名運動等に取り組んだ。とくに「NNネット」に関しては、前述の「組織のための社会的責任（SR）セミナー」の福岡市内での開催協力をいただいた他、NPO・NGOセクターの代表協議者（選挙などで選出する形をとり、個人の見解等ではなく、セクターとしての意見の代弁者という立場に立脚して委員参加する形態）として、日本で初めてマルチステークホルダープロセスで協働による課題解決を図らんとする「社会的責任に関する円卓会議」にも参画した。

以上は、総じて、新たなメニューにチャレンジするよりも、これまでに蓄積してきたノウハウやネットワークを生かしながら、従来の事業をより深化・充実させる姿勢で活動を進めてきた。新たな動き（例：北九州市との協働でのプロジェクト、電通等との協働でのセミナー、株式会社ヌーラボとのプロジェクト/いずれも前述）もあったが、従来の動きの延長線上として取り組んでいる次第である。

3 ●これまでになかった点

▼ “よりよい協働をすすめるための協働”として、行政や企業との新たな活動が生まれ、かつ“環境整備”という主旨から、短期にとどまらないプロジェクトも出てきた。

▼講師派遣事業において、行政職員対象の研修事業や、NPO支援組織・施設のスタッフ対象の研修事業の依頼が増え、年間のレギュラー科目として通年で複数回担当する案件に加えて、リピーターとして前年度に引き続き依頼を受けるケース

が増えた。これが起因して、堅調な自主事業の伸びにもつなげた。

4 ●反省点

例年の反省点であるが、事業のボリュームが相応であるため、もろもろの取り組みについて、綿密な記録化や、情報の整理等まで至らぬまま、追われるままに過ぎてしまった。

[運営面]

1 ●運営面において重視した点

2010 年度は、大きくミッションを見直す一年と位置付け、年度当初の予算で“-2,716,398 円”なる収支差額を掲げた通り、新規かつ大がかりな事業にチャレンジするのではなく、継続事業といくつかの継続事業に絞り込みながら取り組んだ次第である。

2 ●2010 年度の主な運営

▼理事会

2009 年度より理事 6 名（うち、理事長 1 名・副理事長 1 名）、監事 1 名という体制にて運営している。2010 年度中の理事会の開催実績は、計 6 回（5/20 第 18 回理事会、8/3 第 19 回理事会、11/6 第 20 回理事会、12/21 第 21 回理事会、4/6 第 22 回理事会、5/17 第 23 回理事会）である。中長期的なビジョンを見据えながらミッションを刷新することを主な議題として、うち 2 回は、ワークショップ形式も用いながら取り組んだ。

こうした会議の他、日常的な内部のコミュニケーションには、メーリングリスト（ML）を活用し、役員専用 ML では、2010 年度（2010. 4.1.~2011.3.31）の間に、計 678 件のやりとりを行った。緊急性・重要性の高いものについては、ML 上で極力時間を置かずに討議・決定するようにしている。

▼事務局

2006 年 11 月より、吉富まゆみがプロジェクトスタッフとして週 3 回のパートタイムとして勤務していたが、2007 年 6 月よりフルタイムの専従スタッフとなり、同年 12 月には事務局長に就任した。常勤 2 名体制を継続することができており、“日々、古賀・吉富の 2 名が担っている”という当センターの活動像も、以前よりもよく知られている印象である。

▼ボランティア受け入れ

年々、ボランティアやインターンが活動する機会が増えてきた。また、従来から取り組んでいる「ぼらタイム」の他、福岡市 NPO・ボランティア交流センター（あすみん）にてコーディネートされている「ボランティアインターンシップ」を通じて参加される方が複数おられ、参加型で風通しの良い組織づくりのための試みをしているところである。こうした正規のボランティア受け入れプログラムの他、空いた時間を活用した単発的な個人ボランティアが目につき、メール等で問合せをいただくケースも増えている。中には常連化されている方もおられ、各人にとって、「市民活動」の世界へのいざないともなり、また楽しいコミュニケーションの機会ともなるため、事務局としては喜ばしく心強い事である。

3 ●これまでになかった点

▼理事会

9年目に入る2010年度は、開催頻度と出席率を高め、これまでよりどころとしてきたミッションを刷新する作業に注力した。中長期のビジョンを改めて確認し、組織の事業・運営の両面を理事間で見据える時間を相応に持つことができた。

▼事務局

日々の業務において、事務局の滞在時間が多い吉富が日々業務日報を役員ML上で共有することとし、コアメンバー間での情報や課題の共有を図っている。

▼来客

天神の地の利も手伝ってか、県内・外からの来客が益々増えている。用件は、視察・打合せ・新規事業のプレゼン等、属性もNPOの他、企業・行政等様々である。設立当初から、多様なネットワークの中で、新たな方向性や具体的な活動を生み出している当団体としては、こうした来客の増加は喜ばしいことである。ブログ日記「NPO庵ノ嘶」における「お客様」コーナーも、度々更新するほどになっており、中には同コーナーを定期的にチェックして下さっている方もおられる様子である。

4 ●反省点

ボランティアのご尽力もあり、事務所内の書籍・資料類の整理が例年になく進んだが、進行中の事業や運営に係る、都度必要になるような書類が散在しており、常駐の古賀・吉富の間で、内容別の整理や所在の情報共有を日頃から進めておくことが課題である。

※2010年度は、ミッションの刷新作業を進めながら前年度の活動の深化を目指すことを基本的な方針としていたため、上記文章も、一般的に2009年度の記載内容を一部加筆し踏襲した内容とさせていただいた。

【事業報告の詳細】

※「★」は2010年度中、新規に取り組んだもの。「★」の無い事業は、継続事業。

※定款記載の5種類の事業（下記）について「A」～「E」とナンバリングし、ここに報告する各事業と定款記載の5種類の事業種別との関連についても付記。

エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業…[定款A]
エヌピーオーの社会啓発に関する事業…[定款B]
エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業…[定款C]
エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業…[定款D]
エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業…[定款E]

コンサルティング ～草の根活動を円滑かつ効果的に行うために～

■電通+NPO広報力向上委員会

- 「NPOのための広報スキルアップセミナー in 福岡 “伝えるコツを身につけよう” [定款A]
(共催：当センター、株式会社電通、特定非営利活動法人日本NPOセンター
協力：NPO広報力向上委員会、株式会社電通九州)
- ・2010年10月28日、電通九州福岡本社（中央区赤坂）11階ホールにて開催。
 - ・九州一円（鹿児島を除く）より、50名が参加。
 - ・2011年3月20日開催分は、東日本大震災により、災害分野のキーパーソンでもある県外講師（日比野氏）が登壇困難となり、延期を決定。
 - ・詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50682558.html

■「NPO夜学2010 ～NPO入門講座・はじめの一歩のために～」 [定款A]

- (主催：当センター、共催：福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん
後援：福岡県NPO・ボランティアセンター)
- ・2010年7月29日～8月12日、福岡市NPO・ボランティアセンター あすみんにて、計4回開催
 - ・詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50670174.html

■「NPO夜学2010 ～NPOリーダー編～」 (主催：当センター) [定款A]

- ・当センター含む県内9団体のリーダーの方々とともに、各団体の取り組み情報を持ち寄りながら、NPOの経営のあり方を探る勉強会
- ・2010年は、10/25、12/27（忘年会）の計2回実施。
- ・詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50682191.html

【通 年】

■「NPOヨモヤマ相談。」 [定款A]

- ・計3件対応（有料対応分／¥2,000 前年度比 -1件／NPOの組織づくり等）
- ・この他、個別相談に準ずる内容に関する対応状況 … 電話＝74件（前年度比 +24件）
メール＝241件（前年度比 +64件）

- 「くさのねインフォメーションルーム (くさのね- i)」 N P O 向け会議室時間貸サービス [定款 A]
 - ・ 3 回の利用 (用途: イベントの会合)

- 「N P O ・ I C T どんとこいプロジェクト」 (<http://npo-ict.net/>) [定款 D]
 - ・ 福岡県「ふくおか協働W e b」保守管理等 (受託)
 - ・ 福岡県「ふくおか生涯学習ひろば」開発・保守管理等 (受託)
 - ・ N P O と企業の協働で、N P O の I T 活用を支援!
 - ～N P O のための I T 支援プロジェクト「バックログコネクト」(株)ヌーラボと協働) ★

プロモーション ～社会的な啓発、提案、企画開発、広報～

- 「ふくおかの N P O を知る展 2010」 [定款 B]
 - (協力: 天神エフエム株式会社)
 - ・ 2010 年 4 月 10 日～18 日の間、福岡市中心部の商業施設「ソラリアプラザ」1 F 広場「ゼファ」にて、N P O 7 団体が出展
 - ・ 2008 年度に引き続き 2 回目
 - ・ 詳細: http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50650663.html

- 「子どものための児童館と N P O との協働プロジェクト」 [定款 B]
 - (主催: 日本 N P O センター、共催: (財) 児童健全育成推進財団、協賛: (財) 住友生命社会福祉事業団)
 - ・ 行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできた N P O と、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気付き、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。2007 年 5 月より始動。専用サイト <http://www.npo-dondoko.net/>
 - ・ これまで、下記の 5 地域で実施。
 - 新潟 (新潟 N P O 協会)、金沢 (いしかわ市民活動ネットワークセンター)、
 - 仙台 (せんだい・みやぎ N P O センター)・京都 (きょうと N P O センター)、
 - 福岡 (当センター)
 - ・ 風師児童館を核とした門司エリアの計 4 館、到津児童館を核とした小倉北エリアの計 4 館、菅生児童館を核とした小倉南エリアの計 3 館、小嶺児童館を核とした小嶺エリアの計 1 館 (いずれも北九州市) にて、プログラムを 2010 年 9 月～2011 年 3 月の間実施。

- 「5 丁目カフェ うさぎ」 [定款 B]
 - (主催: 当センター)
 - ・ 異分野の人たちが月に一回ゆったりと茶菓子をつまみながら語り交流できる場として 2007 年 7 月より開催。奇数月は当センターの事務所、偶数月は N P O の活動拠点で開催。
 - ・ 実施回数=12 回、参加者数=115 名 ※のべ人数
 - うち、特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本 (R E P W) の自主事業「e c o カフェ」とのタイアップ企画を 2 回開催。

- 「組織の社会的責任 (S R) を考えるセミナー2010」 [定款 B]
 - (共催: 社会的責任向上のための N P O / N G O ネットワーク (N N ネット)、
 - 福岡市 N P O ・ ボランティア交流センター あずみん

協力：企業市民ネット九州（KIQ）

後援：福岡県NPO・ボランティアセンター）

- ・ 8月19日、福岡市NPO・ボランティアセンター あすみんにて開催
- ・ NPO、企業、行政等の関係者ら 30名が参加。
- ・ 詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50673234.html

■ 「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」 [定款A]

（福岡県職員研修所および福岡県市町村職員研修所との協働／受託）

- ・ 事例研究編（7月、NPO・行政関係者による）、実践編（9月、NPO・企業・行政関係者による）の2つのプログラムにて実施。
- ・ 詳細

[事例研究編（7月13～14日実施／1日目の様子）]

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50667702.html

[実践編（9月21-22日実施・1日目の様子）]

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50677887.html

■ 「北九州市協働コーディネーターのあり方研究業務」 ★ [定款C]

（北九州市との協働／受託）

- ・ マルチステークホルダー（北九州市域で活動する各セクターのキーパーソン計15名）の参画を得ながら、北九州市における協働の取り組みの現状と課題を、2011年2月中に3回のワークショップで討議。ここから浮き彫りになった望ましい「協働コーディネーター」像を提言。
- ・ 併せて、市役所職員約250名を対象に、協働に関する意識調査を、記入式アンケートで実施。

【通 年】

■ 「佐賀市協働ステップアップ事業に関するコーディネーション委託業務」 [定款C]

（佐賀市との協働／受託）

- ・ 佐賀市の協働の実態を検証し、施策をブラッシュアップするためのプロジェクト。2007年5月より始動。
- ・ 活動内容

【2007年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング）、トップ研修（三役含む）、協働に関するNPOおよび行政双方からの相談対応、「佐賀市協働情熱チーム」の編成＋特訓（研修）、「佐賀市協働出会いフェスタ」の開催

↓

【2008年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング）、08年10月より「協働相談会」（予約制の個別相談サービス）を開設、「佐賀市協働出会いフェスタ」の開催（計3回／事例発表と交流）、市職員対象の「佐賀市協働情熱チーム BootCamp!」（11月）およびNPO&市職員対象の「佐賀市の協働を進めるトレーニング研修 “協働劇場”」（09年1月）（協働推進に係る人材育成）

↓

【2009年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング／47回＝行政担当部署のべ42、

市民活動団体 5、財団法人 1、企業 1)、「協働相談会」(08 年 10 月に開設した予約制の個別相談サービス/2009 年度中は 5 件対応)、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催(計 4 回/事例発表とセクターを超えた交流の機会として/累計 8 回)、冊子「佐賀市協働力本」の作成・発行



【2010 年度実績】

佐賀市内で活動する N P O 306 団体を対象に、協働のニーズや課題等を問うアンケート調査および 7 団体の訪問調査を行い、佐賀市との協働の現況や課題についてキャッチした。この内容の一部を、2011 年 4 月付の市報に事例紹介として掲載した。並行して、折々で、当事業の担当課(市民活動推進課)とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。

■企業からの寄贈品のコーディネーション「つこーちゃん？」 [定款 B]

- ・企業からの物品類の寄贈依頼案件について、常設の窓口として、N P O ・企業それぞれを対象に、一定の手続の下、コーディネート。
- ・大手企業の他、地場中小企業からも協力あり。
- ・専用サイト <http://www.npomono.info/>

■各セクターの有志による研究会活動への参画 [定款 B]

・「企業市民ネット九州(通称: K I Q / きっく)」

企業の社会貢献担当者ないし関心者の有志が主体で、08 年 1 月より始動。月例ペースで勉強会を開催、県内の企業 6 社・11 名が参加。当センターは事務局として参画。今年度はオープンな活動を図るべく、「組織の社会的責任(S R)を考えるセミナー 2010」(前述)の他、2011 年 1 月 21 日に「The 協働トークショー」を開催。50 名が参加。3 月に開催予定としていた「N P O × 企業 お見合いショー “～新たな出会い、ここから始まる!～” は、東日本大震災の影響を勘案し、延期を決定。

詳細: <http://www.npo-an.com/contents/activities.html#KIQ>

・「パートナーシップ研究会(通称: は〜研)」

福岡県および佐賀県の基礎的自治体(市町村レベル)の市民活動支援や協働を志す行政職員有志による勉強会活動。08 年 1 月より始動。当センターは事務局として参画。議会期など繁忙期を除き、一定のテーマに基づいて情報を持ち寄り、意見交換を行い、終了後は懇親会を行い、ネットワークづくりを図る。計 13 自治体 17 名が参画し、2010 年度中は、第 9 回(8/10)、第 10 回(10/15)、第 11 回(12/22)の計 3 回活動。

詳細: <http://www.npo-an.com/contents/activities/par-ken2010.pdf>

■全国ネットワーク関連 [定款 D]

▼「N P O / N G O に関する税・法人制度改革連絡会」への参画

[会合参加状況]

5/28 N P O / N G O に関する税・法人制度改革連絡会 総会 (古賀)

2011/2/15 新寄付税制& N P O 法改正を求める 2・15 緊急院内集会 (吉富)

[福岡での取り組み]

「N P O 法・税制改正の動きをキャッチしよう ～新政権での追い風は…?～」

同連絡会との地域学習会として、2010年7月25日、福岡市赤煉瓦文化館にて開催
福岡県内のNPO関係者や行政のNPO担当課の他、佐賀県・大分県・長崎県より
NPO関係者や行政のNPO担当課等、20名が参加。

詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50669449.html

▼「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画

[会合参加状況]

- 5/29 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット)総会 (古賀)
- 4/19 円卓会議 WG共有会議 (古賀)
- 5/12 安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議(旧名)
総会・総合戦略部会合同会議 (古賀)
- 7/27 社会的責任に関する円卓会議 運営委員会 (古賀)
- 10/19 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ・WG進捗共有会議(古賀、吉富)
- 10/19 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット)拡大幹事会 (古賀)
- 10/21 社会的責任に関する円卓会議 総合戦略部会・運営委員会 合同会議(古賀)
- 11/8 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ実行委員会 (古賀)
- 12/3 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ実行委員会 (古賀)
- 12/17 社会的責任に関する円卓会議 ワーキンググループ会議 (古賀)
- 12/22 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ実行委員会 (古賀)
- 12/24 社会的責任に関する円卓会議 総合戦略部会・運営委員会合同会議(古賀)
- 2011/1/6 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ実行委員会 (古賀)
- 1/20 社会的責任に関する円卓会議 運営委員会 (古賀)
- 2/4 社会的責任に関する円卓会議 総合戦略部会・運営委員会 合同会議(古賀)
- 2/18 地域円卓会議 in 茨城 2011 (古賀)
- 2/22-23 社会的責任に関する円卓会議 協働PJ”消費者・市民教育モデル事業”(古賀)

[福岡での取り組み]

- 8/19 「組織の社会的責任(SR)を考えるセミナー2010」を開催。(6ページ参照)

▼「NPO法人会計基準策定プロジェクト」への参画

[会合参加状況]

- 7/20 第8回NPO法人会計基準策定委員会 合同会議 (吉富)
- 7/20 NPO法人会計基準発表イベント (吉富)
- 10/19 NPO法人会計基準協議会第一回世話団体会 (吉富)

[福岡での取り組み]

シンポジウム「みんなで使おう!NPO法人会計基準」

特定非営利活動法人NPO会計税務専門家ネットワーク主催で、2010年
9月11日、九州北部税理士会館にて開催。複数機関・組織が後援等で参画。
当センターは、NPOながさき・NPOくまもと・他ボランティアの皆様
とともに特別協力。

詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50676549.html

▼「新しい公共支援事業を考えるNPO支援ネットワーク」への参画

[会合参加状況]

- 12/17 第一回運営委員会 (古賀)
- 12/17 緊急フォーラム・新しい公共支援事業のあり方を考える集会 (古賀)

[福岡での取り組み]

「新しい公共支援事業」第一回 九州ブロック 情報交換会

同ネットワークに参加する九州・沖縄エリアのNPO支援組織有志で呼びかけし、2011年2月24日、福岡市にて開催。(会場提供：福岡県NPO・ボランティアセンター) 内閣府 久保田企画官、日本NPOセンター 田尻理事・事務局長も同席。

詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50783614.html

～その他(各種会合等)～

- ・日本NPOセンター 通常総会 (5/28、古賀)
- ・民間NPO支援センター・将来を展望する会 (CEOミーティング)
(7/20-21・10/20-21 吉富、11/24 古賀)
- ・エクセレントNPOを聞く会 (10/21、古賀・吉富/途中交代)
- ・市民セクター全国会議 2010 (11/22、古賀)
- ・NPO支援センターと企業の社会貢献活動担当者懇談会 (11/24、古賀)
- ・会員管理ソフトに関する意見交換会 (11/24、古賀)
- ・Microsoft Citizenship Day 2010 (12/2、吉富)

■東日本大震災の被災地支援に関わる活動 [定款D]

- ・情報活動として、以下2種類の情報媒体を運用中。
 - ツイッター → <http://twilog.org/fnpoc> (まとめ読み可能/随時更新中)
 - ブログ → <http://j.mp/fzHOMS> (まとめ読み可能)
- ・募金活動として、被災地に関わるNPO活動の支援につながる募金プログラムの広報PR面での支援を実施中。
詳細：“もうひとつの、「私たちにできること」” <http://j.mp/eYK0Gd>

■講師派遣事業 * 2010.4月～2011.3月実施分/原則として古賀桃子で担当 [定款A]

福岡県市町村職員研修所 一般職員二部研修 講師 (通年)
分権時代の自治体のあり方、政策能力&コミュニケーション能力の向上
福岡県職員研修所・福岡県市町村職員研修所 合同研修
NPO・企業・行政パートナーシップ研修 入門編、実践編 講師 (2回)
中間市(福岡県) 協働に関する職員研修・初級編 講師 (8回)
筑紫野市生涯学習センター 研修会 講師
北九州市 生涯学習センター 講師
Panasonic NPO サポートファンド 組織基盤強化プログラム ワークショップ 講師
大分県 建設技術センター 中堅技術職職員 ワークショップ ファシリテーター研修 講師
WeLove天神協議会 「天神おもてなし学校」 ゲスト
大分県ボランティア・市民活動センター ボランティアコーディネータ研修 基本編・応用編 講師
文部科学省 平成22年度社会教育主事講習 講師
香川県 職員研修 講師
香川県 NPO向け研修 講師
金沢市 職員(課長補佐級)研修 講師
島根県自治研修所 中堅職員研修 講師
大分県 「働く女性等のためのステップアップ支援講座」 講師
(社)日本青年会議所九州地区協議会 福岡ブロック協議会 コンペ審査委員
宇佐市NPO連絡協議会(大分県) 「NPO協働推進のためのスキルアップ研修」 講師
長崎県「事業協働化研究会」(提案公募型事業構想ワークショップ) 進行補助(講師：日本NPOセンター田尻氏)
とす市民活動センター市民活動応援講座 講師
島根県自治研修所 新規採用職員研修 講師
TOTO株式会社 ステークホルダーダイアログ コーディネーター

福岡県職員研修所 政策課題研修 “四王寺塾” コメンテーター (中間発表会)
株式会社ヌーラボ 「コラボレーション・カンファレンス 2010」 分科会 ゲストスピーカー
中間市 (福岡県) 協働に関する職員研修 初級編・中級編 講師
シニアネット光 (山口県光市) 団体活動スキルアップ講座 講師
独立行政法人福祉医療機構 H.22 年度社会福祉振興助成事業 事業報告会 講師
西日本高速道路株式会社 (NEXCO西日本) 社内講演会 講師
福岡県 青少年アンビシャス運動 参加団体 研修会
大分県ボランティア・市民活動センター 福祉ボランティアリーダー養成講座 講師
宮崎市民活動センター 市民活動講座 講師
IBMビジネスパートナー会&九州IBMユーザー研究会 共催 女性セミナー 講師
FSL (Fukuoka Scholar&Lawyer/県内学生と弁護士の勉強会) ファシリテーター講座 講師
山口県社会福祉協議会 企業関係者と市町村協 情報交換会 進行役 ※黒岩理事が担当
ふるさと島根定住財団 活動への理解と共感の輪を広げるプレゼン講座 講師
大分県ボランティア・市民活動センター ボランティアリーダー研修 講師
福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 “四王寺塾” コメンテーター (最終報告会)
北九州市 「協働推進コーディネーターのあり方研究会」 ファシリテーター (3回)
大分県 「NPOと企業と行政の協働ひろば」 ファシリテーター
古賀市 「家庭教育支援者養成研修」 講師
地域づくりネットワーク福岡県協議会 研修会 講師
飯塚市 「協働の街づくりセミナー」 講師
福岡県NPO・ボランティアセンター 「NPOと県の協働面談会」 コーディネーター
八幡西区ボランティア連絡協議会 「ボランティアの広げ方・つなげ方」
佐世保市市民活動推進室&佐世保市社協 「NPO支援施設のあり方を考える意見交換会」 ファシリテーター
佐世保市 「NPO研修”この春 ステップアップ!~改めて『組織』について考えよう~」 講師
しまね子どもセンター 「子育て子育て支援ネットワーク つながるネ!ット 全県交流会」 講師
長崎県 「企画力&プレゼン力講座」 講師 (3地域)
つやまNPO支援センター 「NPOと企業との協働に関する研修会」 講師

■執筆等 [定款A]

九州労働金庫「夢ろうきん」連載”教えて!NPO”(古賀にて担当、2010年5・6月号完結)

その他

■ITによる情報発信関連の取り組み状況 [定款D]

①ホームページ [NPO庵]

- ・7,222 訪問、12,590 ページビュー (10/04/01~11/03/31、一日あたり平均 20)
- ・事務局日記ブログ「NPO庵ノ嘶」でも日々の活動を発信中
(05年11月~、http://blog.livedoor.jp/npo_an/)

②メルマガ [NPO庵だより]

- ・2010年度中に計23号を配信 (11/03/31現在 vol.137)
- ・配信登録者数 2596名 (11/05/24現在、前年比 +408名)

③情報提供用ML [古今東西NPO情報]

- ・04年10月より始動、2010年度中に計66通を配信 (11/03/31現在)
- ・配信登録者数 262名 (11/05/24現在、前年比 +26名)
- ・NPO・自治体・企業などの、社会貢献分野に係る各地の最新トピックを随時配信
- ・専用ブログ「古今東西NPO情報」でも、メール配信と同時に発信中
(05年12月~、http://blog.livedoor.jp/npo_news/)

④ツイッター [アカウント:fnpoc (<http://twilog.org/fnpoc> /まとめ読み可能)]

- ・情報発信やコミュニケーションに活用。
- ・3/11の東日本大震災以降、震災に係る情報活動にも活用。

■問合せ等への対応状況 ※前述の相談業務 および 下記のマスメディアの対応件数を除く。

- ①電話 計 884 件 (10/04/01～11/03/31、前年比 +230 件)
- ②メール 計 121 件 (10/04/01～11/03/31、前年比 + 76 件)
- ③来訪等 計 214 件 (10/04/01～11/03/31、前年比 + 34 件)
- 合計 1219 件 (前年比 +34 件)

■メディア対応状況

- ①取材関係
 - ・新聞社より随時 (西日本・朝日・読売・毎日各局部)
 - ・電話取材、来訪 計 12 件 (10/04/01～11/03/31、前年度比 +8 件)
- ②記事掲載等
 - ・新聞 (イベント案内記事・コメント等、適宜)

■事務局での活動

- ニューズレター「みみたぶ」月刊 (07 年 8 月～)
- 月例ボランティア参加プログラム「ぼらタイム」(ご常連 3 名の他、企業からも受入) [定款 B]
- 「雑草 C U P ボウリング大会」開催 (事務局を担当、第 6 回 = 10/09/17) [定款 B]

【参 考】委員・役員等

古賀桃子...担当分

- ・ N P O 関係
 - 特定非営利活動法人 M Y P 理事
 - 特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか 理事
 - 特定非営利活動法人 N P O 博多まちづくり 理事
 - アートサポートふくおか 監事
 - 福岡ライフセービングクラブ 監査役
 - N P O さが 監事
- ・ 行政関係
 - 2009 年度～ 福岡県「福岡県青年の翼実行委員会」委員
 - 2010 年度～ 福岡県「N P O ・ ボランティアと企業、行政との協働実践会議」委員
 - 福岡県「共助社会づくり事業運営委員会」委員
 - 福岡県「森林環境税事業評価委員会」委員
 - 2010 年度～ 岡山県備中県民局「協働事業審査会」委員
 - 2010 年度～ 福岡市「都市景観審議会」委員
 - 2008 年度～ 佐賀市「市民活動プラザ運営委員会」委員
 - 2010 年度 佐賀市「市民活動プラザ運営仕様策定会議」委員
 - 2009 年度～ 春日市「春日市男女共同参画審議会」委員
 - 2010 年度 飯塚市「指定管理者評価委員会」委員
 - 2010 年度～ 嘉麻市「自治推進委員会」委員 (自治基本条例関連)
- ・ その他 (マルチステークホルダープロセスでの会議体)
 - 2009 年度～ 「社会的責任に関する円卓会議」総合戦略部会委員
 - (「社会的責任向上のための N P O / N G O ネットワーク」代表協議者として)

吉富まゆみ...担当分

- ・ 行政関係
 - 2009 年度～ 鳥栖市「市民活動支援補助金制度」審査委員

2010 年度 収支決算

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

科 目		金 額 (単位:円)	
(資金収支の部)			
I	経常収入の部		
1	会費収入	265,000	265,000
2	事業収入		
	エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業	5,580,290	
	エヌピーオーの社会啓発に関する事業	1,319,903	
	エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業	2,921,741	
	エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業	1,778,078	
	エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業	0	11,600,012
3	寄付金収入	14,729	14,729
4	雑収入		
	受取利息	797	
	雑収入	52,926	53,723
	経常収入合計		11,933,464
II	経常支出の部		
1	事業費		
	エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業	4,518,646	
	エヌピーオーの社会啓発に関する事業	1,420,952	
	エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業	2,104,545	
	エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業	3,258,342	
	エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業	0	11,302,485
2	管理費		
	給料手当	120,712	
	法定福利費	16,466	
	旅費交通費	4,007	
	地代家賃	25,740	
	印刷製本費	8,716	
	通信運搬費	9,366	
	修繕費	4,258	
	消耗品費	349	
	水道光熱費	2,410	
	諸会費	10,000	

2010 年度収支決算

	租税公課	247,300		
	諸謝金	2,661		
	雑費	43,454	495,439	
3	法人税等			
	法人税、住民税及び事業税	71,083	71,083	
	経常支出合計			11,869,007
	経常収支差額			64,457
III	その他資金収入の部			
	敷金戻り収入	179,700	179,700	
	その他資金収入合計			179,700
IV	その他資金支出の部			
	その他資金支出合計			0
	当期収支差額			244,157
	前期繰越収支差額			5,248,488
	次期繰越収支差額			5,492,645
	(正味財産増減の部)			
V	正味財産増加の部			
1	資産増加額			
	当期収支差額		244,157	
2	負債減少額			
	正味財産増加額合計			244,157
VI	正味財産減少の部			
1	資産減少額			
	敷金減少額		179,700	
2	負債増加額			
	正味財産減少額合計			179,700
	当期正味財産増加額 (△減少額)			64,457
	前期繰越正味財産額			5,670,848
	当期正味財産合計			5,735,305

その他の事業会計収支計算書

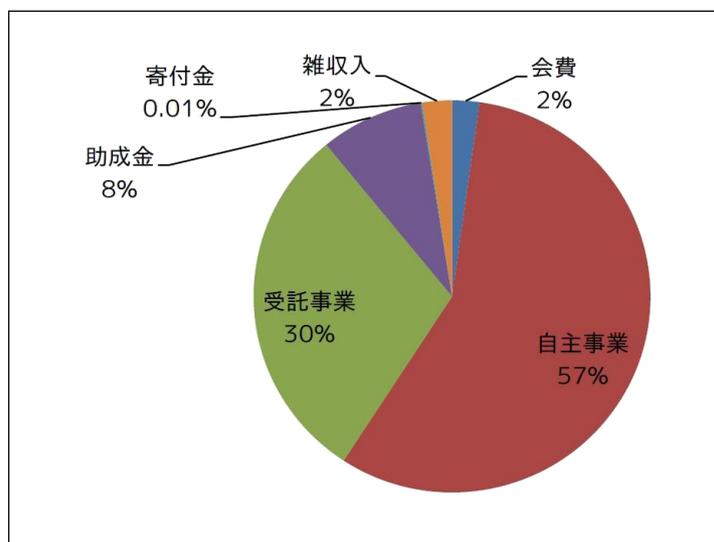
(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

科 目		金 額 (単位:円)	
(資金収支の部)			
I	経常収入の部		
1	会費	0	0
2	事業収入		
	会員相互の親睦事業	0	0
3	寄付金収入	0	0
4	雑収入	0	0
	経常収入合計		0
II	経常支出の部		
1	事業費		
	会員相互の親睦事業	0	
2	管理費		
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	会議費	0	
	旅費交通費	0	
	地代家賃	0	
	印刷製本費	0	
	通信運搬費	0	
	消耗品費	0	
	事務用品費	0	
	新聞図書費	0	
	諸会費	0	
	研修費	0	
	租税公課	0	
	支払報酬	0	
	雑費	0	0
	経常支出合計		0
	経常収支差額		0
III	その他資金収入の部		
	その他資金収入合計		0
IV	その他資金支出の部		
	その他資金支出合計		0
	当期収支差額		0
	前期繰越収支差額		0
	次期繰越収支差額		0
(正味財産増減の部)			
V	正味財産増加の部		
1	資産増加額		
2	負債減少額	0	0
	正味財産増加額合計		0
VI	正味財産減少の部		

2010 年度収支決算

1	資産減少額	0	0	
2	負債増加額	0	0	
	正味財産減少額合計			0
	当期正味財産増加額（△減少額）			0
	前期繰越正味財産額			0
	当期正味財産合計			0

ご参考 / 財源割合グラフ



特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(2011年 3月31日 時点)

科 目		金 額 (単位:円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	3,127,761	
	未収金	4,040,206	
	商品	10,160	
	立替金	18,110	
	流動資産合計		7,196,237
2	固定資産		
	敷金	232,500	
	固定資産合計		232,500
	資産合計		7,428,737
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	1,285,852	
	預り金	94,480	
	未払法人税等	71,000	
	未払消費税等	242,100	
	流動負債合計		1,693,432
2	固定負債		
	固定負債合計		0
	負債合計		1,693,432
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	5,670,848	
	当期正味財産増加額	64,457	
	正味財産合計		5,735,305
	負債及び正味財産合計		7,428,737

その他の事業会計貸借対照表

(2011年 3月31日 時点)

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 . 流動資産			
現金預金	0		
未収金	0		
商品	0		
立替金	0		
流動資産合計		0	
2 . 固定資産			
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 . 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
未払法人税等	0		
流動負債合計		0	
2 . 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	0
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(2011 年 3 月 31 日 時点)

科 目		金 額 (単位:円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	現金 手許有高	48,468	
	普通預金 福岡銀行/薬院支店	2,507,929	
	普通預金 福岡銀行/本店	517,521	
	普通預金 福岡銀行/本店	152	
	普通預金 西日本シティ銀行/薬院支店	11,746	
	郵便振替口座	16,840	
	九州労働金庫	25,105	3,127,761
	未収金		
	福岡県NPO・ボランティアセンター	1,462,379	
	北九州市	965,727	
	佐賀市	1,102,100	
	㈱生活構造研究所	10,000	
	日本NPOセンター	500,000	4,040,206
	商 品	10,160	10,160
	立替金	18,110	18,110
	流動資産合計		7,196,237
2	固定資産		
	敷金		232,500
	固定資産合計		232,500
	資産合計		7,428,737
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払金		
	経費支払	1,285,852	
	預り金	94,480	
	未払法人税等	71,000	
	未払消費税等	242,100	
	流動負債合計		1,693,432
2	固定負債		
	固定負債合計		0
	負債合計		1,693,432
	正味財産		5,735,305

その他の事業会計財産目録

(2011 年 3 月 31 日 時点)

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 . 流動資産			
現金預金	0		
未収金	0		
商品	0		
立替金	0		
流動資産合計			0
2 . 固定資産			
敷金		0	
固定資産合計			0
資産合計			0
II 負債の部			
1 . 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
未払法人税等	0		
流動負債合計		0	
2 . 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

監査報告書

特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター

理事長 古賀 桃子 殿

2010年 4月 1日から2011年 3月31日までの監査を行なった結果を、
以下の通り、報告する。

1 監査の方法の概要

関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて

計算書類等の正確性を監査した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

2011年 5月20日

特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター

監 事 古賀 弥生



2010 年度収支決算

以下は、2010 年 7 月 20 日策定の「NPO 法人会計基準」に基づく財務諸表

2010 年度 活動計算書

(2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科目		特定非営利 活動に係る 事業	その他 の事業	合計
I	経常収益			
1	受取会費			
	正会員受取会費	265,000		265,000
	賛助会員受取会費			0
2	受取寄付金			0
	受取寄付金	14,729		14,729
3	事業収益			0
	エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言 に関する事業収益	5,580,290		5,580,290
	エヌピーオーの社会啓発に関する事業収益	1,319,903		1,319,903
	エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業収益	2,921,741		2,921,741
	エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業収益	1,778,078		1,778,078
	エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業収益	0		0
4	その他収益			0
	受取利息	797		797
	雑収入	52,926		52,926
	経常収益計	11,933,464	0	11,933,464
II	経常費用			
1	事業費			
(1)	人件費			
	給料手当	4,199,288		4,199,288
	法定福利費	601,215		601,215
	人件費計	4,800,503	0	4,800,503
(2)	その他経費			
	売上原価	43,164		43,164
	旅費交通費	2,125,484		2,125,484
	通信費	373,290		373,290
	消耗品費	54,609		54,609
	修繕費	148,123		148,123
	水道光熱費	83,827		83,827
	諸会費	60,000		60,000
	地代家賃	895,433		895,433
	賃借料	83,620		83,620
	租税公課	3,400		3,400
	印刷製本費	328,447		328,447
	諸謝金	2,176,247		2,176,247
	雑費	126,339		126,339
	その他経費計	6,501,983	0	6,501,983
	事業費計	11,302,486	0	11,302,486
2	管理費			

2010 年度収支決算

	(1) 人件費			
	給料手当	120,712		120,712
	法定福利費	16,466		16,466
	人件費計	137,178	0	137,178
	(2) その他経費			
	旅費交通費	4,007		4,007
	通信費	9,366		9,366
	消耗品費	349		349
	修繕費	4,258		4,258
	水道光熱費	2,410		2,410
	諸会費	10,000		10,000
	地代家賃	25,740		25,740
	租税公課	247,300		247,300
	法人税、住民税及び事業税	71,083		71,083
	印刷製本費	8,716		8,716
	諸謝金	2,661		2,661
	雑費	43,453		43,453
	その他経費計	429,343	0	429,343
	管理費計	566,521	0	566,521
	経常費用計	11,869,007	0	11,869,007
	当期経常増減額	64,457	0	64,457
III	経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
IV	経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	経理区分振替額	0	0	0
	当期正味財産増減額	64,457	0	64,457
	前期繰越正味財産額	5,670,848	0	5,670,848
	次期繰越正味財産額	5,735,305	0	5,735,305

貸借対照表

(2011 年 3 月 31 日 時点)

科目		金額 (単位: 円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	3,127,761	
	未収金	4,040,206	
	商品	10,160	
	立替金	18,110	
	流動資産合計		7,196,237
2	固定資産		
(1)	有形固定資産	0	
	有形固定資産計	0	
(2)	無形固定資産	0	
	無形固定資産計	0	
(3)	投資その他の資産		
	敷金	232,500	
	投資その他の資産計	232,500	
	固定資産合計		232,500
	資産合計		7,428,737
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	1,285,852	
	預り金	94,480	
	未払法人税等	71,000	
	未払消費税等	242,100	
	流動負債合計		1,693,432
2	固定負債		
	固定負債合計		0
	負債合計		1,693,432
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	5,670,848	
	当期正味財産増減額	64,457	
	正味財産合計		5,735,305
	負債及び正味財産合計		7,428,737

財産目録

(2011年 3月31日 時点)

科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 . 流動資産		
現金預金		
現金 手許有高	48,468	
普通預金 福岡銀行/薬院支店	2,507,929	
普通預金 福岡銀行/本店	517,521	
普通預金 福岡銀行/本店	152	
普通預金 西日本シティ銀行/薬院支店	11,746	
郵便振替口座	16,840	
九州労働金庫	25,105	
未収金		
福岡県NPO・ボランティアセンター	1,462,379	
北九州市	965,727	
佐賀市	1,102,100	
(株)生活構造研究所	10,000	
日本NPOセンター	500,000	
商品	10,160	
立替金	18,110	
流動資産合計		7,196,237
2 . 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金	232,500	
投資その他の資産計	232,500	
固定資産合計		232,500
資産合計		7,428,737
II 負債の部		
1 . 流動負債		
未払金		
経費支払	1,285,852	
預り金		

2010 年度収支決算

源泉所得税	25,880		
住民税他	68,600		
未払法人税等	71,000		
未払消費税等	242,100		
流動負債合計		1,693,432	
2 . 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,693,432
正味財産			5,735,305

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法

(2) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業費の内訳

科目	相談・助言事業	社会啓発事業	調査研究事業	情報環境事業	企画提案事業	合計
(1) 人件費						
給料手当	2,032,105	477,814	1,057,691	631,678		4,199,288
法定福利費	289,220	68,409	151,430	92,156		601,215
人件費計	2,321,325	546,223	1,209,121	723,834	0	4,800,503
(2) その他経費						
売上原価		24,116		19,048		43,164
旅費交通費	885,639	232,685	143,198	863,962		2,125,484
通信費	156,820	48,474	114,069	53,927		373,290
消耗品費	12,018	18,465	21,172	2,954		54,609
修繕費	71,256	16,854	37,308	22,705		148,123
水道光熱費	40,326	9,538	21,114	12,849		83,827
諸会費				60,000		60,000
地代家賃	430,756	101,887	225,536	137,254		895,433
賃借料	29,000	53,000		1,620		83,620
租税公課	1,000		2,400			3,400
印刷製本費	147,090	58,503	76,375	46,479		328,447
諸謝金	367,394	294,347	241,416	1,273,090		2,176,247
雑費	56,022	16,860	12,836	40,621		126,339
その他経費計	2,197,321	874,729	895,424	2,534,509	0	6,501,983
合計	4,518,646	1,420,952	2,104,545	3,258,343	0	11,302,486

注 相談助言事業・・・エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業
 社会啓発事業・・・エヌピーオーの社会啓発に関する事業
 調査研究事業・・・エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業
 情報環境事業・・・エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業
 企画提案事業・・・エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業

2011 年度 事業および運営に関する計画

[2011 年度の主な方針]
 草の根の市民活動のための、草の根のセンターとして
 中長期的視点に立った新たなミッションに基づき
 さまざまな組織や人との対話・連携に基づいた
 具体の行動を展開します。

文責：代表 古賀桃子

[事業面]

当センターは 2002 年の設立以来、活動の 2 つの柱として、“コンサルティング”と
 “プロモーション”を掲げ、これらを両輪として、各種事業に取り組んできた。
 2010 年度中、理事会にて、ミッション刷新のための検討作業を行い、以下の通り、
 4 つの柱 <ひろげあう> <そだちあう> <ふかめあう> <つなぎあう> と、そ
 れぞれのアプローチを掲げることとした。

わたしたちが、
 草の根の NPO センターとして、
 取り組むべきと考えていることは…

1、ひろげあう
情報活動
提言
キャンペーン
～ 定款の事業種別 ～
「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B) 「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D) 「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
NPO の活動に役立つ情報活動
(セミナー・イベント・助成金情報等お役立ち情報の提供)
NPO の活動基盤整備に向けた全国的なネットワークへの参画
(NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会、社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク 等)
行政の委員会・審議会等への参画
(市民活動支援、協働推進、自治基本条例、NPO 支援や協働に係る事業選定 等)

2、そだちあう
個別相談
リーダー学習
専門研修、連携・協働の勉強会活動
～ 定款の事業種別 ～
「エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業」(A) 「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B) 「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D)
人や組織への個別的なアプローチ (個人、NPO、企業、行政等)
(ボランティア参加促進、NPO 設立や組織強化・企業や行政の NPO 支援や協働・CSR・SR 等に係る個別相談)
人財育成の取り組み～NPO 関係者向け
(企画力、広報力、プレゼン力、資金調達をはじめとするファンドレイズ、リーダー論、組織づくり、SR、IT 力 等)
人財育成の取り組み～行政職員向け
(協働、NPO 概論、政策形成力、ファンリレーション、プレゼン力、SR 等)

1、ひろげあう [前頁の続き]

企業の多様なステークホルダーとのコミュニケーションの場づくりの支援 (ステークホルダーダイアログ等)
企業のNPO支援や協働に関するプログラム支援 (プラン策定等の企画立案過程、助成プログラムの開発、審査 等)
災害等緊急時の各種活動 (情報活動、募金のPR支援、NPO等による災害関連イベントの側面支援 等)

2、そだちあう [前頁の続き]

人財育成の取り組み～企業の従業員向け (CSR、協働、ファシリテーション、プレゼンカ、SR 等)
人財育成の取り組み ～その他の組織(社会福祉協議会・福祉施設・教育機関 等) (企画力、人財の適材適所のコーディネート、広報力、ファシリテーション、プレゼンカ、情報開示、IT力、SR 等)
人財育成の取り組み ～マルチステークホルダー向け (定例的な自主勉強会、トークショー 等)

3、ふかめあう

調査研究 セクター別/間のよりよい協働の環境づくりのための研究・検証活動 ～ 定款の事業種別 ～ 「エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業」(C) 「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
社会・地域の新たな課題へのチャレンジ (NPOにまつわる諸課題の研究)
社会・地域の課題解決に向けた各種プログラムの検証、刷新 (セクター別ないしセクター間のよりよい協働の環境づくりのための各種制度や各種事業の開発・実施・検証活動、その他社会貢献分野に係る諸課題の研究・検証活動)

4、つなぎあう

資源仲介 対話 交流 ～ 定款の事業種別 ～ 「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B) 「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D) 「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
ゆるやかな対話・交流の場づくり (多様なセクターの関係者間でコミュニケーションを持つ場づくり 等)
社会・地域の課題解決に向けたよりよい連携・協働のための各種サポート (人材・組織の橋渡し 等)
NPOのミッション達成の一助となるような資源の仲介 (人材・資金・物品・空間・情報 等の各種資源)
災害等緊急時の資源仲介 (人材・資金・物品・空間・情報 等の各種資源)

※以上を視覚的に図示した資料を、29ページに添付。

これらに基づく、今年度の事業計画の詳細は後述の通りである。

〔 運 営 面 〕

① 理事会

役員改選期となる 2011 年度では、1 名の退任に伴い、新たに 1 名の新任理事をお迎えしたい。(任期 2 年) なお、多忙な理事が大半ではあるが、引き続き、理事会開催や日常的なミーリングリストでのやりとり等を通じて、組織の日々の状況や変化について、役員間の効果的・効率的な情報共有や意見交換を進め、更なるチームワークの強化を図りたい。

② 事務局

2006 年度以来、2 名専従体制で活動している。引き続き、日々の大半の時間を事務所で過ごしている吉富より、日報をミーリングリストにて流し、情報や課題の共有化を図りながら、オンライン・オフラインでの情報共有の仕組みや進め方を更に整えたい。また、昨年度以来持ちこしの懸案である、資料や書籍等の整理についても、中には重要な資料もあるため、日常的に整理のあり方を意識しながら進めたい。

また、2007 年度からは「ぼらタイム」をはじめとする、ボランティアの受け入れを積極的に進め、2009 年度からは、福岡市 N P O ・ボランティア交流センター(あすみん)のインターンシッププログラムの受け入れも行っている。ボランティアのコーディネーター自体、相応の労力・時間等を要するものであるが、常連となられている方も複数おられ、吉富にてボランティアに分掌できる業務の洗い出しや分担化を都度図ってきた。いかなる分野の活動であっても、こころざしや思いを組織に寄せて下さるボランティアは、草の根活動の源泉であるとの認識から、引き続き、極力、受け入れのあり方やルールを改善・工夫し、ボランティアが参画しやすいような環境整備を図りたい。

③ 評議員会(新規)

2002 年の設立以来、多様なセクターとのかかわりを重視しながら活動を展開している当センターとしては、今後も、更なる関係の拡がりを期するとともに、各方面との対話の深化を図る必要がある。多様なステークホルダーの知見を、次なる行動に反映していくべく、2011 年度より各界のキーパーソンをお招きしての評議員会を創設、運用したい。

※詳細は議案資料「その他」(34 ページ) 参照

④ 財政面

2010 年度は自主財源の比率が、総収入の過半数を占めることとなったが、引き続き、組織の根幹を支える自主財源、とりわけ会費や寄付金といった、様々な人や組織の共感や信頼に裏打ちされた財源の比率を高め、資金面での自立度を高めていくことが課題である。今年度は、会員制度を改定し、あわせて、入会や寄付の P R 等の自助努力も図りたい。

[事業計画案の詳細]

※「★」は2011年度に新規に取り組む予定のもの、それ以外は継続事業
 ※事業名の末尾に「(受託)」と記していないものは、自主事業ないし共催事業。
 ※定款記載の5種類の事業(下記)について「A」～「E」とナンバリングし、
 ここに記載する各事業と定款記載の5種類の事業種別との関連についても付記。

エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業…[定款A]
 エヌピーオーの社会啓発に関する事業…[定款B]
 エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業…[定款C]
 エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業…[定款D]
 エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業…[定款E]

1、ひろげあう

#当センターの問題意識

市民・行政・企業の各セクターにおいて、NPOに関心や期待を有している人たちの数は確実に増えており、その内容も多岐にわたっている。しかしながら、中には不信の目でNPOを捉える人も少なくなく、ガバナンス、とりわけ情報開示による透明性の向上が急務である。現在、これにまつわるNPO側の動きは、専ら東京が中心であり、地元では情報共有度や関心度の差もみられ、更なる情報発信と巻き込みが肝要である。そこで当センターとしては、引き続き、“NPOの社会的な信頼を高めるための取り組み”ないし“NPOの社会的な信頼が高まる仕組みづくりのための取り組み”という切り口で、以下の活動に取り組みたい。

■ NPOに関連する制度面での活動 [定款D]

「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」への参画を通じた、NPOに関連する制度面についての運動・キャンペーン・学習会等を行う。

■ NPOの社会的信頼向上のための取り組み [定款B]

① 「SR(組織の社会的責任)」に関連する活動

「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画を通じた、SR(組織の社会的責任)についての学習会(組織のためのSRセミナー)の開催や、“社会的責任に関する円卓会議”への参画等を行う。

② 「NPO法人会計」に関連する活動

「NPO法人会計基準協議会」への参画を通じた、NPO法人会計基準についての情報提供・学習会等を行う。併せて、当センターも、このガイドラインに則った情報開示(決算報告)を行う。

■ 出展活動 [定款B]

外部組織によるNPOに関する展示機会がある場合、パネル等によるPRを行う。

■ 東日本大震災の被災地支援のための取り組み [定款D]

情報活動と併せて、「被災地をささえるNPOを、わたしたちで、ささえませんか。”もうひとつの、私たちにできること”」なる謳い文句で、被災地にかかわるNPOの資金的支援につながる募金プログラムの広報PR支援活動を行う。

また、被災地にありながら被災者支援のための各種調整や情報活動に精力的に取り組んでおられる、特定非営利活動法人茨城NPOセンター・コモンズ（認定NPO法人）に当センターより寄付（3万円）を行う。

2、そだちあう

#当センターの問題意識

市民・行政・企業の各セクターにおいて、NPOに関心や期待を有している人たちの数は確実に増えており、その内容も多岐にわたっている。しかしながら、基本的理解の素地を持たないままに、NPO設立に着手したり、協働を模索する動きがみられ、それが故に、事後で壁に当たる現象も見られる。NPOへの関心が量的および質的に増している折だからこそ、多様な属性の関係者を対象に、NPOの基本的理解をすすめ、かつ、活動の担い手の力量形成を図ることはますます重要となっている。

- 「NPOヨモヤマ相談」 [定款A]
予約制の有料相談。（1回2000円、会員は無料）
NPOの設立・運営に係る相談の他、企業、行政の社会貢献活動・CSRや協働に関する各種相談に対応。
- 「協働力向上セミナー」 ※福岡県と協働（受託） ★ [定款A]
福岡県内で、市民活動関係者を対象に、協働に不可欠な考え方やスキルを学ぶ機会を、福岡県NPO・ボランティアセンターおよび市町村自治体や市民活動支援施設の担当者との連携のもと、提供する。（県内各地で計30コマ程度を予定）
- 「NPO夜学 ～リーダー編～」 [定款A]
隔月1回程度、代表者や事務局長クラスのNPOのリーダー10名程度とともに、組織運営（経営）について情報交換しながら共に学ぶ。（非公募）
- 「伝えるコツを身につけよう NPOのための広報スキルアップセミナー」 [定款A]
2010年度と同様、NPO広報向上委員会、(株)電通、(株)電通九州ともに開催。
- ボランティアの参加・参画機会の提供 [定款B]
“天神で、月イチボランティア”なる謳い文句で取り組んでいるボランティア受け入れプログラム「ぼらタイム」の他、外部組織によるインターンシッププログラムへの、インターン受け入れの協力を行い、各人の自己実現や力量形成等に貢献する。
- 「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」 ※福岡県市町村職員研修所と協働（受託） [定款A]
入門編、実践編の計2回実施。各回とも2日間プログラム。後者では、NPO関係者、企業関係者、県内自治体職員が一同に会する形として、事後の連携に向けた関係づくりも図る。
- 「NPO・ICTどんとこいプロジェクト」 [定款D]
2011年度は、マイクロソフト社・日本NPOセンターと共に、NPO対象としたイベントを福岡市内で行う。この他、2010年度から取り組んでいる株式会社ヌーラボとの協働プロジェクト「バックログコネクト」等、これまで通り、NPOのI

T面に関する研修、相談事業、セミナー等への講師派遣、自治体と協働による草の根の活動や人材に関する発信媒体支援等は、重要と判断される都度行う。

■各セクターの有志による研究会活動への参画 [定款B]

- ・「企業市民ネット九州（通称：KIQ）」
定例勉強会の他、東日本大震災の影響で延期となった「NPO×企業 お見合いショー」をはじめ、オープンな会合開催も検討する。
- ・「パートナーシップ研究会（通称：ぱ〜研）」
定例勉強会の他、県外への合宿も検討する。

■講師派遣事業 [定款A]

NPO、企業、行政等への各種研修・ワークショップや、参加者間の対話や相互理解を目的とする会合等について、依頼がある都度、当センター関係者を、講師やファシリテーターとして派遣する。

3、ふかめあう

#当センターの問題意識

この10年強ほど、とりわけ行政において「協働」が注目されているところである。もはや市民活動団体（NPO）との協働という概念のない自治体施策はないと言っていいほど、近年、各種施策に「市民活動支援」や「連携」、「協働」の概念が用いられるようになっていく。他方、これらは、行財政改革の流れの中で、行政コストの効率化の一策として位置づけられている向きもあり、またその実施プロセスも、未だ必ずしも市民（NPO）との共同作業の上でのものとは言い難いところが多い。市民（NPO）・行政とも、今一度、「NPO」や「協働」の意義の再確認を進めながら、あるべき姿（地域のくらしのビジョンあってこそ、双方の共同作業ということ）に立ち返る機会を折々で持つ必要がある。こうした「協働」にまつわる動きを含め、日々、さまざまな事象をとらえながら、NPO支援組織としての視座から、課題と解決策を掘り下げ、NPOの助けとなるような方向で、より広く分かち合えるような研究・提言活動をすすめたい。

■「佐賀市協働ステップアップ事業」 ※佐賀市と協働（受託） [定款C]

着手より5年目となる今年度は、昨年度来取り組んでいる佐賀市（行政）と協働で課題解決に取り組むNPO側への訪問ヒアリング調査を継続し、あわせて、このプロジェクトでは初めての企業セクターへのアプローチとして、CSRや社会貢献活動に関する取り組み状況を把握するためのアンケート調査に着手する。

■「北九州市協働コーディネーターのあり方研究業務」 ※北九州市と協働（受託） [定款C]

着手より2年目となる今年度は、昨年度行った多様なステークホルダーで構成する研究会活動での討議を継続しながら、地縁組織の関係者との顔の見える関係づくりや、課題共有、協働の取り組みの創出等を図り、その中から見えてきた課題を検証・提言する。

■市民活動の資金的支援に関する研究活動 ★ [定款C]

市民活動の、とりわけ自主財源の強化につながるような方策を練るべく、まずは寄付金の収集状況・主な使途・NPOも含めた各者の意向等の実態を考察する。

- 「[自治体×市民] 協働対策ゼミ」 [定款C]
全国のNPO支援センターとタイアップした“協働環境調査”(統括：I I H O E[人と組織と地球のための国際研究所])の調査年度に合わせて行っている公開セミナー。今年度は同調査の計画が未定であるが、この調査に限らず、NPOと行政との協働について看過しがたいトピックがあれば1回程度開催したい。

- 「協働幻想?プロジェクト」 [定款C]
2010年度中に、島根大学法文学部 毎熊准教授、佐賀市役所 木島氏とともにMLを立ち上げ、NPOと行政の協働の分野における憂慮される動きについて、ゆるやかに意見交換や情報共有を行ったところである。毎熊氏著「協働幻想論—NPO 政策の批判的実践的規準」(2005年)のML上での輪読活動が年度途中で終わったため、継続して完了させ、NPOと行政の協働の意義・課題の再整理とともに、昨今の動向に照らし、市民と行政とのあるべき関係像や協働の質を高めるための必要十分条件等を多角的に探りたい。

4、つなぎあう

#当センターの問題意識

多くの会員や寄付者を擁し、市民の共感・信頼に裏打ちされたNPOの中には、日々のネットワークや組織内の活気、また財政力等の点で優れて強みを有するところも少なくない。当センター自身もここは課題としているところであり、市民(個人、団体含め)との関係をいかに築いていくが焦点と考えている。そこで、セクターや立場を超えて、対話や交流の機会を通じた顔の見える関係づくりを図っていくと同時に、「百聞は一見に如かず」という言葉にもあるとおり、一目でNPOの活動を感じとっていただけるような方策も、他団体との連携の下、練りたい。

- 「5丁目カフェ うさぎ」 [定款B]
多様な属性の方々同士で、飲食物と共にゆるやかな時間を過ごすプログラム。事務所でのカフェタイムないしバータイムと、NPOの現場体感ツアーを月替わりで行う。

- 「NPOによる企業向け提案・交流事業」 ※福岡県と協働(受託) ★ [定款E]
NPOと企業の関係者間の顔の見える関係づくりと協働の事業化を図ることをねらいとして、福岡県内で複数回のイベントを行う。

- 企業のボランティアプログラムや社員のボランティア活動の側面支援 ★ [定款E]
東日本大震災後、企業からの社員のボランティア活動に関する問合せや要望も複数寄せられているところである。災害時のような非常時に限らず、様々なテーマで活動するNPOの日々の活動に助けとなり、かつ、社員自身も自己実現や新たな気づき、自己変革の機会となるような橋渡しのあり方を考察し、試行したい。

- 「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」 [定款B]
(主催：日本NPOセンター、共催：(財)児童健全育成推進財団、
協賛：(財)住友生命社会福祉事業団)
行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点

として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。2007 年度より、福岡県北九州市を含む全国 5 地域で実施中だが、今年度からは新たに公募型の助成プログラムに移行するため、その企画・運営面での側面支援を行う。

- 「つこーちゃん？」 [定款B]
企業等からの寄贈品の、NPOを対象としたコーディネーションを引き続き行う。
- 「雑草CUP 草の根ボウリング大会」 [定款B]
異セクター交流を目的に、引き続き行う。

そ の 他

- ITによる各種情報活動
 - ・ホームページ [NPO庵] ※2011 年度中にリニューアルを行う。
 - ・メルマガ [NPO庵だより]
 - ・メールニュース&ブログ [古今東西NPO情報]
 - ・ツイッター (@fnpoc)
- ニュースレター [みみたぶ] 発行

【参 考】委員・役員等

古賀桃子 担当分 / 2011 年度 新任 (5/24 時点、就任予定含む)

- ・ NPO関係
2011 年度～ 特定非営利活動法人日本NPOセンター 評議員会 委員
- ・ 行政関係
2011 年度～ 佐賀市「“1%支援事業(仮称)”に係る審査委員会」委員
佐賀市「佐賀市民活動プラザソフト事業選定に係る審査委員会」委員

～ 参 考 ～

当センターのミッション (2010 年度策定) チャート図



2011年度 予算

金額 (円)

備考

収入の部			
会費収入	300,000	[正会員] 個人 (5,000× 15口)、団体 (5,000× 15口) [賛助会員] 個人 (10,000× 5口)、団体 (10,000× 10口)	
自主事業収入	6,228,000	各種活動 (詳細は「2011年度事業計画」参照)	
受託事業収入	14,005,344	福岡県、佐賀市、北九州市、福岡県市町村職員研修所 等	
※参考：上記「自主事業収入」・「受託事業収入」の事業別内訳／未定含む			
		NPOに関連する制度面での活動 [D]	0
"ひろげあう"		NPOの社会的信頼向上のための取り組み [B]	60,000
		出展活動 [B]	0
		東日本大震災被災地支援 [D]	0
		NPOヨモヤマ相談 [A]	48,000
		福岡県 協働力向上セミナー [A]	2,198,280
		NPO夜学 [A]	50,000
		伝えるコツ・広報スキルアップセミナー [A]	230,000
"そだちあう"		ボランティア参加・参画、インターンシップ [B]	30,000
		NPO・ICTどんとこいプロジェクト [D]	100,000
		各セクターの有志による研究会活動への参画 [B]	0
		講師派遣 [A] ※「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」含む	5,500,000
		佐賀市 協働ステップアップ事業 [C]	1,200,000
		北九州市 協働コーディネーターのあり方研究 [C]	2,000,000
"ふかめあう"		市民活動の資金的支援に関する研究活動 [C]	2,000,000
		[自治体×市民] 協働対策ゼミ [C]	90,000
		協働幻想?プロジェクト [C]	0
		5丁目カフェうさぎ [B]	90,000
		福岡県 NPOによる企業向け提案・交流事業 [E]	4,607,064
"つなぎあう"		企業のボランティアプログラムや社員のボランティア活動の側面支援 [E]	2,000,000
		「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」 [B]	30,000
		つこーちゃん? [B]	0
寄付金収入	30,000	個人、団体 等	
その他収入	10,000	受取利息、雑収入等	
収入合計	20,573,344		

支出の部

事業費 “ひろげあう”

NPOに関連する制度面での活動 [D]	380,000	県外出張旅費、参加料、スタッフ人件費等
NPOの社会的信頼向上のための取り組み [B]	90,000	講師関連（謝金・旅費）、チラシ印刷費、スタッフ人件費等
出展活動 [B]	25,000	展示物製作費、出展料、スタッフ人件費等
東日本大震災被災地支援 [D]	95,000	チラシ印刷費（募金PR支援）、スタッフ人件費寄付（茨城NPOセンター・commons）

”そだちあう”

NPOヨモヤマ相談 [A]	40,000	スタッフ人件費
福岡県 協働力向上セミナー [A]	2,138,796	講師関連（謝金・旅費）、チラシ印刷費、スタッフ人件費等
NPO夜学 [A]	20,000	スタッフ人件費
伝えるコツ・広報スキルアップセミナー [A]	90,000	チラシ印刷費、消耗品費、スタッフ人件費等
ボランティア参加・参画、インターン協力 [B]	85,000	スタッフ人件費
NPO・ICTどんとこいプロジェクト [D]	40,000	レンタルサーバ費、スタッフ人件費等
各セクターの有志による研究会活動への参画（KIQ、ぱ～研） [B]	75,000	旅費、参加料、印刷費、スタッフ人件費等
講師派遣	1,330,000	旅費・宿泊費、スタッフ人件費等 ※「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」含む

”ふかめあう”

佐賀市 協働ステップアップ事業 [C]	700,000	旅費、消耗品費、スタッフ人件費等
北九州市 協働コーディネーターのあり方研究業務 [C]	1,200,000	旅費、消耗品費、スタッフ人件費等
市民活動の資金的支援に関する研究活動 [C]	2,300,000	チラシ印刷費、消耗品費、スタッフ人件費等
〔自治体×市民〕協働対策ゼミ [C]	80,000	チラシ印刷費、消耗品費、スタッフ人件費等
協働幻想？プロジェクト [C]	20,000	スタッフ人件費

”つなぎあう”

5丁目カフェうさぎ [B]	120,000	消耗品費、スタッフ人件費等
福岡県 NPOによる企業向け提案・交流事業 [E]	4,085,651	講師関連（謝金・旅費）、会場費、チラシ印刷費、スタッフ人件費等
企業のボランティアプログラムや社員のボランティア活動の側面支援 [E]	2,000,000	チラシ印刷費、消耗品費、スタッフ人件費等
「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」 [B]	30,000	スタッフ人件費
つこーちゃん？ [B]	106,000	レンタルサーバ費、旅費、スタッフ人件費等
「雑草CUP 草の根ボウリング大会」 [B]	0	

小計 15,050,447

管理費

会議費	10,000	湯茶代等
旅費交通費	100,000	通勤費等
通信運搬費	200,000	電話代、プロバイダ料、ネット回線料、切手代等
消耗品費	50,000	事務用品等
人件費	900,000	事務局運営従事者

		(吉富/事業費にて計上した事業に係る人件費 1,500,000 円分を除く)
印刷製本費	100,000	パンフ、名刺、封筒、コピー機メーカー料金等
図書研修費	100,000	各種会合・研修参加費、書籍・資料購入費等
顧問料	415,000	内野友昭税理士 @31,500×10カ月+決算 100,000
外注費	250,000	ウェブサイトのリニューアル制作費
租税公課	313,063	法人税、住民税等
地代・家賃	740,000	事務所家賃 12 か月分
水道光熱費	60,000	事務所電気代
諸会費	80,000	日本NPOセンター、制度連絡会、NNネット等
法定福利費	700,000	概算(社会保険等2名分)
雑費	30,000	振込手数料等
	小計	4,048,063
支出合計	19,098,510	
当期収支差額	1,474,834	
前期繰越収支差額	5,492,645	
次期繰越収支差額	6,967,479	